

# 国有地を活用して多様な地域ニーズに対応(官官連携による公有資産活用)船橋市

## (1)事業概要

・国家公務員船橋体育センターは、昭和51年に国家公務員の福利厚生施設として開設したが、平成21年3月に廃止された。敷地面積は3万3644.09平方メートル。敷地内には、グラウンドやテニスコート、体育館などが設置されていた。

・船橋市は、全市的に喫緊の課題となっている施設を整備するため、同敷地の活用について庁内でヒアリングを実施し、社会福祉、防災、子育て、緑地整備などがあがった。その結果をもとに、“みどりにつつまれた福祉と防災の拠点づくり”の跡地活用構想を策定した。平成26年度は国庫補助の内示を受け、早期に整備が必要な施設の建築開始する予定で、平成27年4月以降、一部施設の共用階を開始するとともに、他の施設整備を随時開始する計画となっている。

## (2)特徴

・船橋市と財務省関東財務局千葉財務事務所が綿密な連携を図ることで、円滑な公有資産の活用(跡地活用)が実現した。

・国、県、自治体における行政サイドの施設需要が変化する中で、社会・地域の課題解決に対応した効率的・効果的な公有資産活用を進めるための「官官連携」が求められており、その先進的な取り組みのひとつとなった。



現況

(船橋市提供)

敷地面積:33,479㎡

## ■事業の主な内容

(出典)財務省HP、財務省「国有財産レポート」、日刊建設工業新聞より

項目	内容
事業名	旧国家公務員船橋体育センター跡地活用事業
発注者	船橋市
事業内容	<p>所在地／船橋市行田2-15-14 面積／33,644平方メートル 整備予定施設・機能／</p> <p>①認可保育園(定員約160人) 敷地面積2000平方m、建築規模は2階建て延べ約1500平方m</p> <p>②児童発達支援センター(同約80人) 敷地面積は2500平方m、建築規模は2階建て延べ約1700平方m</p> <p>③重度の身体障害者の通所による生活介護事業所(同約50人) 敷地面積2100平方m、建築規模は平屋約1250平方m 上記3施設を民設民営方式で設置する</p> <p>④防災備蓄倉庫 ⑤多目的広場 ⑥テニスコート などを市有施設として建設する方針</p> <p>計画図</p>
事業者	船橋市および民間団体
事業方式	官官連携による公有資産活用+民設民営による施設整備
事業期間	平成27年度以降順次整備・供用開始予定